

令和5年度学校自己評価システムシート（県立熊谷西高等学校）

目指す学校像	生徒の力を最大限に伸ばす県北が誇る進学校
--------	----------------------

重点目標	1 知性・自信・品格を備えた西高生を育成する 2 高い志と学力を育み、第一志望進路を実現できる西高生を育成する 3 家庭や地域と積極的に連携・協力し、開かれた西高づくりを推進する 4 SSH指定校として、西高生の科学的な資質の向上に全校で取り組む
------	--

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	5名
	生徒	3名
	事務局(教職員)	16名

学 校 自 己 評 価					学 校 関 係 者 評 価	
年 度 目 標			年 度 評 価 (2 月 1 日 現 在)			
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度
1	多くの生徒が節度を持ち、主体的・積極的に学校生活を送っている。全校で統一した生活指導を行うとともに、多くの生徒が下校時間を守り、学習と部活動を両立した環境を進めよう。	⑦学校全体でマナー、ルール遵守を徹底する。 ⑧生徒の自主性と積極性を一層高める。 ⑨充実した学校生活を送るため、心身の健康増進を図る。	①教職員が共通意識を持ち、支援を実施。 ②教職員・生徒とも挨拶の励行。 ①行事や委員会活動において、生徒の自主的活動を支援する。 ②部活動でチャレンジ精神やチームワークを育成し、達成感や自信を持たせる。 ③活動を工夫し、午後7時完全下校を目指す。 ①教育相談体制の充実。 ②感染症拡大防止の徹底。	①共通意識を持ち、支援できたか。 ②双方向の自発的な挨拶が増えたか。 ①生徒が自主的に協働し、行事が成功したか。 ②生徒の自己達成感80%以上。 ③生徒の完全下校率80%以上。	①声掛けやWB掲示で共通意識を育んだ。 ②双方向の自発的な挨拶が行われている。 ①6月に体育祭、9月に文化祭を実施し、生徒が自主的に運営を担った。 ②生徒の学校生活の満足度は、「まあ満足」以上が88.7%。 ③生徒の完全下校率は82.1%。	A
2	近年、進学実績の向上が見られる。多くの生徒が進学している。すべての生徒に基礎学力を定着させるとともに、新学習指導要領や大学入試の変化に適切に対応し、一人一人に対応した進路指導を行う必要がある。	⑦国公立大学や難関私立大学等の第一志望校合格を実現する。 ⑧新学習指導要領、高大接続改革を踏まえた授業改善により、基礎学力を充実させるとともに、思考力、判断力、表現力を向上させる。	①補習や個別指導等を行い、基礎学力・応用力の確実な定着を図る。 ②適切な情報提供や個人面談等により、最後までチャレンジする指導を行う。 ①探究活動を通じて主体的に学ぶ態度を育てる。 ②各授業でAL(アクティブラーニング)やPCを活用した活動を充実させる。 ③朝学習、進路自習室、学習動画等の活用により自学自習を促進する。	①学力向上が図られ、大学入試に対応する力がついたか。 ②現役進学率が昨年より増えたか。 ①主体的に学ぶ態度が育まれたか。 ②生徒が積極的に授業に関わり、「主体的・対話的で深い学び」を実現できたか。 ③朝学習、自習室及び家庭における学習時間が増加したか。	①教室や自習室を利用して最後まで頑張る生徒の姿が見られた。 ②推薦等による進学者は43名(1月末現在)。一般入試受験に期待する。 ①2月6日の課題研究発表会で普通科・理数科併せて14の発表を実施、生徒・保護者前で自信をもって説明できた。 ②発言や学び合い、教え合いをする授業がさらに増え、学習の理解や興味・関心を広げることができた。 ③多くの生徒が校内での学習を実施した。	A
3	ホームページの充実やタイムリーな情報発信を行っている。校外の教育力を活用した特色ある教育活動が実施されている。生徒募集に繋がる機会を逸さない積極的な情報発信が必要である。	⑦大学、企業、研究機関等との連携や家庭との連携を一層発展・充実させる。 ⑧生徒募集活動を一層充実させる。	①既存の連携事業を一層発展・強化する。 ②学校ホームページ、進路だより等を活用し、生徒・保護者に十分な進路情報を提供する。 ③学校行事とPTA各種委員会との連携を図る。 ①学校説明会、相談会等を効果的に実施する。 ②インターネット申し込み等を一層進める。	①連携事業の充実が図れたか。 ②学校ホームページ等でタイムリーな情報提供ができたか。 ③PTAと積極的な連携ができたか。 ①②生徒募集において昨年度の倍率を上回ることができたか。 ②中学生や保護者が利用しやすい申し込み等が進んだか。	①コロナ禍を過ぎ、各連携事業をコロナ前の状態で行うことができた。 ②ほぼ毎日、各種情報発信を行うことができた。 ③来年度以降の組織改編等で密接に連携することができた。 ①普通科で0.06ポイント、理数科で0.18ポイント昨年度を上回る倍率となった。 ②11、12月の進学相談会申込は、募集後定員が直に埋まった。	A
4	学校全体としてのSSH事業への積極的な取組が定着しつつある。取組の校外へのPRと地域貢献が必要である。	SSH事業を通じて科学的素養や探究心、プレゼンテーション能力等を引き続き育成するとともに、学校外へのPRを行う。	①全職員が共通理解のもとSSH事業に取り組むとともに、第3期申請に向け準備を進める。 ②「KN-Line(熊西『学び』の双方向ライン)」を一層充実させる。 ③「SL-Net(サイエンスラーニングネットワーク)」の取組として情報発信や地域の学校と連携して新規交流会等を実施する。	①全職員による事業展開ができたか。 ②課題研究や探究活動における発表の機会等を通じて、双方向の学びを一層充実させられたか。 ③効果的な情報発信、地域の学校との連携による地域貢献ができたか。	①全教職員の協力のもと、Ⅲ期申請を行うことができた。 ②大雪のため、2月6日の課題研究発表会は午前の部を延期、午後の部は16部門の発表を実施した。延期した午前の部は3月12日に実施した。 ③楽しもうサイエンスや埼玉大での理科教育研究発表会に参加し、発表の機会を得、小中学生、高校生、大学生との交流を進めることができた。	A

実施日	令和6年3月15日
-----	-----------

学校関係者からの意見・要望・評価等

<ul style="list-style-type: none"> 生徒と教員とのお互いに尊敬し合える、好ましい関係を今後も築いてほしい。 厳冬期の女子の防寒対策について検討してほしい。 定期的な面談の回数を増やしてほしい。 自転車通学者のヘルメット着用や安全指導などを引き続きお願いしたい。 校内でのスマートフォンの使い方の指導をお願いしたい。
<ul style="list-style-type: none"> 近隣の進学校と変わらないいい実績を上げている。来年度も今年度同様よい成果が上がるよう指導をお願いしたい。 地元の企業団体等と連携ができる機会を検討してほしい。
<ul style="list-style-type: none"> 文化祭や体育祭など生徒の生き生きとした活動が倍率の向上につながったのではないかと。 本当に熊西に入学したい生徒に来てもらえるよう、頑張してほしい。
<ul style="list-style-type: none"> 三期申請が通ってよかった。今後もSSHの活動を頑張ってほしい。 生徒の探究活動のテーマは新しいものが増えるとよい。